

近世人物誌

やまと新聞附録第九

伴林六郎光平
 伴林六郎光平ハ萬齋と号す初め僧侶ありが後髪を蓄はへて和州斑鳩の里に住すよりて又群鳩隱士と号す最も和歌を巧みせし憂國の志深りてを以て大和の義舉に加はりしが既して天の川辻の陣敗き一軍津川郷に退き保せし時彦根藩の兵來り襲谷より光平鎧を提げ少壯の士もあ混じり將は敵軍に赴らんとして此日恰も九月九日ありけき光平今を盛りと谷陰よ咲満ちたる菊の花を一本手折りてさしおごつて出るもて斯くお口づきしける身も中てくを代を新らぬ



發行所 東京 京橋区 龜崎二丁目 遷信省可
 やまと新聞社
 編集長 奥隅欣二
 編輯 中泉政太郎



圓活々

伴林六郎光平19号 文庫10-8617-19

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

